技術教育支援センター

技術教育支援センターは、機械系、電気・電子系、情報系、化学系、土木系などの専門分野を持つ 15 名の技術職員で構成されています。技術職員は本校の創立当初から、技術支援業務を各学科の実験室や実習工場において実施してきました。技術教育支援センターが発足後、専門分野を超えて資質向上を図るに適した職場環境となり、技術教育活動支援をより充実させることが可能となりました。

■技術教育支援センターの業務

1）研究教育支援
- 授業支援：各学科・コースにおける実験、実習、プログラミング、設計製図（CAD 教育）などの授業における支援活動
- 製作依頼：授業、卒業研究、教員研究で使用する実験機器等の製作、製作指導、および機器修理補修

2）施設管理支援
- 実習工場、創造工房
- 電子顕微鏡室、X 線室
- テクノセンター研究室
- 学術情報教育センター（ネットワーク管理）

3）地域連携支援
- 出前講座
- 公開講座

▲学内講習会

▲鋳造実習

▲ネットワーク管理

▲土質実験実習

電子顕微鏡室・X 線室

電子顕微鏡室には 3 台の電子顕微鏡が設置され、教育研究に利用されています。

①電子プローブマイクロアナライザ
JXA-8230（日本電子製）

②電解放出形走査電子
顕微鏡　JSM-7500F

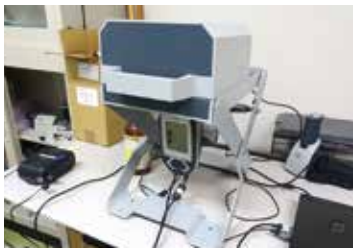
③低真空分析操作電子顕微鏡
JSM-6360LA（日本電子製）

以上のうち、①と③は顕微鏡観察と一緒に元素分析もできるのが特徴です。

X 線室には X 線回折装置、および 2 台の蛍光 X 線分析装置が設置されています。③は携帯型なので、移動が難しい試料も現地で元素分析が可能です。

①X 線回折装置
UitimaⅣ（リガク製）

②卓上蛍光 X 線 分析装置
Supermini（リガク製）


③携帯型蛍光 X 線分析装置
Niton XL3t（サーモサイエンティフィック製）